



2025年9月11日

学校法人慶應義塾

株式会社かんぽ生命保険

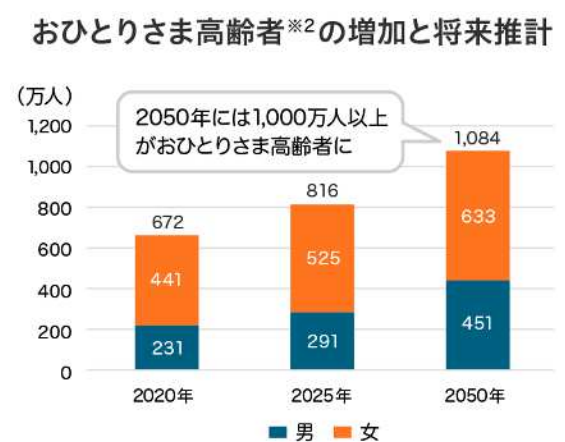
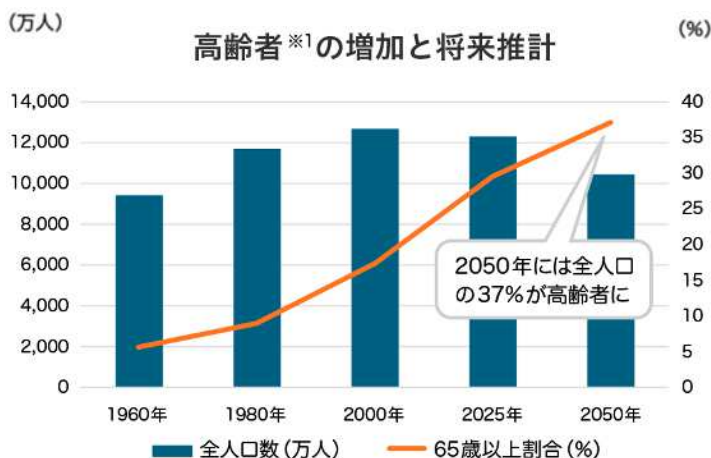
## 慶應義塾大学と“おひとりさま高齢者”を 包括的に支援するサポート体制作りを目的とした協働を開始

～“おひとりさま高齢者”をはじめとする、  
すべてのお客さまの安心、安全な暮らしを支えていくために～

株式会社かんぽ生命保険（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長 谷垣邦夫、以下「かんぽ生命」）は、学校法人慶應義塾（東京都港区、塾長 伊藤公平、以下「慶應義塾」）と高齢化が急速に進む中で、社会的なつながりが希薄となり、身近な人から必要な支援を受けることが難しい高齢者、いわゆる“おひとりさま高齢者”へのサポートをこれまで以上に拡充し、保険サービスの価値を実感いただくための協働に関する契約を締結いたしました。


生命保険業界においては、急速な高齢化に伴い、高齢者の認知機能の低下や社会的孤立といった課題等が顕在化しています。特に“おひとりさま高齢者”の増加により、保険契約における意思確認や資産の保全・承継に関する対応が一層求められるようになっていきます。

また、保障ニーズの変化や代理人制度の整備、金融リテラシーの低下への支援など、さまざまな課題も出てきています。



慶應義塾が有する最先端の金融ジェロントロジー（金融老年学）や社会学、法学等の知見と、かんぽ生命が誇る国内有数のお客さまサポート体制を融合し、“おひとりさま高齢者”を含むすべてのお客さまが保険サービスの価値を実感できるよう、必要な取り組みについて協働を進めてまいります。そして、お客さま一人ひとりに寄り添う姿勢を大切にしながら、社会課題の解決と、生命保険事業を通じた持続可能な社会貢献の実現を目指します。



慶應義塾は慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート (KGRI) ※<sup>1</sup>（東京都港区、所長 中妻照雄 経済学部教授）内にJ-PEAKS※<sup>2</sup>  の取り組みのひとつとして設置された“課題ワンストップ受入解決ユニット（ユニット長 星野崇宏 経済学部教授）”を中心に本協働を進めてまいります。

“課題ワンストップ受入解決ユニット”では専任担当者が窓口となり、企業などが抱える社会課題や経営課題をワンストップで受け入れ、複数分野の研究者から構成されたチームによる学際的なアプローチで課題の解決を図ります。

※<sup>1</sup> KGRI : 2016年11月に、学部・研究科横断的な全塾的研究組織として設置されました。KGRIは、一学問領域や一国・地域におさまらない学際的、国際的連携研究を推進し、その研究成果を国内外へ発信するとともに、さらなる連携研究を促進することを目的としています。

※<sup>2</sup> J-PEAKS : 慶應義塾では、2024年より「未来のコモンセンスをつくる研究大学」というコンセプトのもと、日本学術振興会（JSPS）の支援を受けて地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）を開始しました。

#### ■慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート 公式HP

<https://www.kgri.keio.ac.jp/index.html>

#### ■課題ワンストップ受入解決ユニットについて

（慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート公式HP内）

<https://www.kgri.keio.ac.jp/onestop-unit.html>